

スズキジャパンカップ 2022 第39回全日本総合エアロビック選手権大会
全国大会 11月13日 大会結果
エアロビック競技選手の日本一が決定

エアロビック競技の国内最高峰「スズキジャパンカップ 2022 第39回全日本総合エアロビック選手権大会 全国大会」(主催:(公社)日本エアロビック連盟、会長 遠藤 利明)が、11月13日(日)大田区総合体育館(東京都)で開催されました。

<公式サイト：<https://www.aerobic.or.jp/competition/suzukijapan/>>

各都道府県大会、各地区大会などを勝ち抜いた選手たちが、シニア5部門、ユース6部門に、のべ136名が参加し、エアロビック競技の日本一が決定いたしました。

これまで、新型コロナウイルスの影響により競技部門の縮小や無観客での開催などを経て、3年ぶりに全種目競技を実施し、さらに有観客での開催となりました。観客席から声援は送れないものの、フラッパーや大きな拍手で選手たちを応援、会場は熱気であふれ、選手たちは日ごろの練習の成果を存分に発揮しました。

シニア男子シングル 斉藤瑞己選手が優勝

史上初の8連覇を達成後、昨年は残念ながら2位となった日本のエース斉藤瑞己選手(群馬県太田市/S K J)が、見事優勝。昨年のくやしさをバネに競技力向上のため「すべてにおいて基礎を一からやり直した」とのコメント通り、次々と繰り出される高難度の技で会場の観客を魅了し、21,750点の高得点で優勝。シニアの部最高得点者の斉藤選手には、文部科学大臣杯が贈られました。

女子シングル部門は、北爪凜々選手が復帰後2連覇!

女子シングル部門は、北爪凜々選手(群馬県太田市/S K J)が電撃引退から復帰後、見事2連覇。「見ている方の心に残り続ける演技ができるように」と作品の強化に取り組み、見事な演技を披露しました。

ユース2女子シングル部門は、佐阪真那選手が初優勝。

佐阪真那選手(大阪府泉南郡/くまとり A.G.C.)が18,400点で初優勝。

ユースの部で最高得点の佐阪選手には、NHKグローバルメディアサービス杯が贈られました。

今大会は、「スズキワールドカップ エアロビック世界大会」の日本代表選手選考会も兼ねており、シニア各部門2位まで(但し16,500点以上)の選手および組、ユース各部門は優勝選手および優勝組が日本代表として出場予定。

◆テレビ放映 NHK-BS1 11月27日(日)11時~12時50分 放送予定

スズキジャパンカップ 2022 全国大会の結果は下記をご覧ください。

<https://www.aerobic.or.jp/competition/detail/I16370393190800985742280032661664.html>

【本件に関するお問い合わせ】

スズキジャパンカップ PR 事務局

株式会社東宣 担当：塚盛、野口

TEL：03-3567-1517（平日 9:30-17:30）

E-mail: aerobic@tosen-net.co.jp